

報道関係各位

農業と観光との連携による農作業受委託モデル事業 「農を起点とした県内外の異業種交流会」の実施について

このことについて、企業の社会貢献や社員教育として農作業受委託に取り組む「アグリワーケーション」参加者を対象として、「農を起点とした県内外の異業種交流会」を下記のとおり実施しますので、取材くださるようお願いします。

本事業は、農業の人手不足解消と農を起点とした交流人口の拡大等を目的として、本年3月に山形県、全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）及び株式会社JTBの3者で締結した連携協定に基づき実施している農作業受委託モデル事業（別添資料参照）の一環で実施するものです。

記

- 日時 令和5年10月27日（金）9:00～14:00
- 会場 第一部：天童グランドホテル舞鶴荘
（山形県天童市鎌田本町二丁目4-51）
第二部：山形いも煮センター「カワサキヤ」いも煮会場
※詳細は会場案内参照
- 内容 第一部：9:00～11:00
グループディスカッション
第二部：12:00～14:00
山形の食文化に触れる交流会
- 参加者 10月25～26日に「ラ・フランス」の出荷調整作業に従事する県外企業（6社）及び県内企業（5社）

※詳細は、別添チラシを御覧ください

【お問い合わせ先】

○ 事業の全体概要について

農林水産部農業経営・所得向上推進課
課長補佐（農業経営・金融担当）後藤
TEL：023-630-2286
報道監 農林水産部次長 齋藤 邦仁

○ 異業種交流会の詳細について

JA全農山形 営農企画部 営農支援課
佐藤 大輔 TEL：023-634-8134
株式会社JTB 広報室
TEL：03-5796-5833

○ 異業種交流会第二部の会場について

(ご案内)

集合場所：山形いも煮センター「カワサキヤ」いも煮会場

下記地図のいも煮会場（赤印）へ直接お越しください。

車でお越しの場合は、会場周辺の駐車場を現地でご案内します。

当日の連絡先：080-3330-8850（全農山形 松浦）

○ 広域図



○ 拡大図



<会場案内>

- ① 山形県庁方面から国道286号を東進（関沢方面へ）
- ② 東沢小学校付近の橋を渡ってすぐに左折し西進（左の拡大図A）
- ③ 突き当りの場所が、いも煮会場と駐車場になります

以上

農を起点とした県内外の 異業種交流会

日時

2023年10月27日(金) 09:00～15:00 (受付8:30～)

会場

第一部：天童グランドホテル舞鶴荘 1階「来夢」

第二部：山形いも煮センター「カワサキヤ」



(イメージ)

目的

山形県では23年度、全農山形とJTBと連携し「元気な農業人材確保プロジェクト事業」を実施いたします。

ポストコロナを見据え多様な人材を山形県に呼び込み、農作業受委託の仕組みを活用し、農業や地域につながるモデル事業を展開します。また、農業を起点として、観光・産業等が連携したオール山形の体制で農業の人手不足を解消するとともに、関係人口の創出・拡大による地方創生を目指します。

今回、山形にて「JTB アグリワーケーション®(ラフランス選果 × 社員研修)」に参加いただいた企業の代表者を異業種交流会にお招きし、県内企業との異業種交流会を実施することにより、山形の企業や魅力を知っていただき、新たなビジネスチャンスへの発展や産業活性化を目指します。

県外参加企業

※順不同

東日本旅客鉄道株式会社 / 日本航空株式会社
デロイトトーマツコンサルティング合同会社 / 農林中央金庫
株式会社マイファーム / 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

県内参加企業

※順不同

モンテディオ山形 U23 / 株式会社チェリーランドさがえ
株式会社白糸の滝 / 合同会社つかさや旅館
株式会社 NTT 東日本

< 第一部 >

09:00	開会・開会のあいさつ
09:15	ファシリテータのご紹介 事業説明
09:30	グループディスカッション ※1つのテーマについて、農作業を体験したうえで 議論します。 ※事前アンケートにもお答えいただけます。
10:00	各チームからの発表
10:40	総評 第一部閉会のご挨拶
11:00	第一部終了 バスにて第二部会場へ移動

< 第二部 >

12:00	カワサキヤ到着 ・司会より開会のご挨拶 ・ラ・フランス生産者ご紹介 ・班ごとに鍋へ移動 ・芋煮の作り方のご説明・調理
12:30	乾杯のご挨拶 フリー歓談
13:00	仕上げの芋煮作り 実食、フリー歓談
13:30	芋煮アレンジ料理 カレーうどん調理・実食
14:10	第二部閉会のご挨拶
14:15	閉会 山形駅までバスで移動
15:00	山形駅到着 解散

農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

令和5年10月23日
農林水産部

○ 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

三者連携協定の枠組み



- **協定の趣旨・目的**
農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。
- **主な協定項目**
 - ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
 - ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業委託の調整
 - ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
 - ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
 - ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成
- **締結日**
令和5年3月22日(水)
- **協定期間**
令和9年3月31日まで
(延長の可能性あり)

連携協定の概要

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワーケーション

企業・社員 ~ 社員のワーケーションの合間に農作業に従事 ~

- CSR, SDGs, 健康経営等で地方と連携
- 社員教育による人材育成
- 異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- 自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ~ 合宿のついでに農作業に従事 ~

- 合宿を通じたチームビルディング
- 合宿費用、活動費の確保
- 合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事者で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

アグリツアー

観光客 ~ 旅行メニューとして農作業を体験 ~

- 山形の魅力を感じられる旅行
- 農業、農村暮らし体験への憧れ
- より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事者で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

農作業委託モデルの構築



協定締結による具体的な取組み

県内外の異業種交流機会の提供

- ・農や食、SDGs等をテーマにした県内企業との交流会の開催
- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用した異業種交流の創出や、コワーキングスペースの提供

やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験 + 農村や地域の魅力を体感できる交流イベントの開催

交流機会の提供